

主と協力して、新しい復興をもたらし、この時代を終結させる

聖書：ハバクク 3:2. 使徒 26:19, 22. マタイ 14:19, 22-23.

ピリピ 1:19-22, 25. ヨハネ 21:15-17

復興

彼らが最後にわたしを尋問した時、彼らはわたしに、ほかの**宗派**はみな自分たちの集会を「奮興会」と呼んでいるのに、なぜ台湾の大復興の期間中、わたしたちは「復興」という語を用いるのか、と尋ねました。彼らは、わたしたちの意図は中華を復興することにあるのではないかと疑っていたのです。わたしは答えて言いました。「聖書には『復興』はありますが、『奮興』はありません。」すると、わたしを尋問していた人は、すぐに一冊の聖書をわたしに渡し、『復興』という二文字を聖書の中から見せてみなさい」と言いました。わたしは聖書によく通じていましたから、『復興』という語がハバクク第三章にあることを知っていました。「エホバよ、あなたのみわざをこの年のうちに復興してください。この年のうちにそれを知らせてください。激怒の中でも深い同情を思い起こしてください。」(ハバクク第三章二節)しかし、その場でハバクク書を開くのは容易ではありませんでした。ところが不思議なことに、わたしが何気なく聖書を開くと、ちょうどハバクク第三章でした。わたしはその節を指し示してその人に見せると、彼はたちまち言葉を失いました。

復興の渴望 預言者	ハバクク3:2 エホバよ、あなたの みわざをこの年のうちに復興 してください ホセア 6:2 彼は二日の後わたしたちを 生かし 、三日目にわたしたちを 起き上がらせ 、わたしたちは彼の臨在の中を 生きる 。
詩人	詩篇 119:25 わたしの魂はちに付いています。あなたの言葉にしたがって、 わたしを生か してください。 詩 119:50 これは、苦悩の時のわたしの慰めです。あなたの言葉が わたしを生かした からです。
被造物	ローマ 8:21 それは被造物自身も、朽ち果てる奴隷状態から自由にされて、神の子供たちの栄光の自由に入る望みがあるからです。 ローマ 8:22 全被造物は、今に至るまで共にうめき、共に産みの苦しみをしていることを、わたしたちは知っています。

主と協力して、新しい復興をもたらし、この時代を終結させる

I	神の選民の間に、復興されたいという切望が常にあります		
II	神聖な啓示の最高峰に到達 することを通して	A	重大な問題、重大な答え
		B	聖書の要素、「箱」の中の「ダイヤモンド」、神と人のロマンス
		C	中心的な啓示
		D	神と人のミングリング
		E	啓示を見、祈る
III	神・人の生活を通して	A-C	団体の人、この啓示にしたがった生活をする
		D-F	神・人の生活の道
IV	キリストの天の務めにあずかることを通して 神にしたがって牧養する	A	主イエスの模範にしたがって牧養する
		B	使徒パウロの模範にしたがって牧養する
		C	わたしたちがこの牧養する負担を受け入れる

(朝ごとの食物)第1週 主と協力して、新しい復興をもたらし、この時代を終結させる			
日	段落、流れ	主題	要点
1	復興の渴望 啓示の最高峰	復興されたという切望と啓示の最高峰に到達する	復興されたいという切望
2			問題の答えと箱の中のダイヤ
3	神・人の生活	神の中心の啓示を見て、祈る	神の中心の啓示
4			啓示を見た後、祈る
5	神にしがった 牧養	啓示にしたがった神・人の生活 をすることによる団体的な原型 主の原型(模範)にしたがった神 人の生活をする道	神・人の生活の団体的な原型
6			団体的な原型は第一の神・人の生活の複写、複製 第一の神・人の生活の原型(模範) ミングリングされた霊にしたがって歩き、生活する
		主イエスの模範にしたがって人 を牧養する	人性のはぐくみ、そして神性の養い 愛し赦す心と、牧養し捜す霊
		パウロの模範にしたがって人を 牧養する	養う母、また勧めをする父 愛が最も卓越した道

三日目にわたしたちを起き上がらせ

主にとって一日は千年のようです(Ⅱペテロ 3:8)。この原則によれば、ここの二日は、A.D.70 年に起算した最初の二つの千年の時期を表徴するのでしょうか。A.D.70 年にローマの君タイタスはエルサレムと宮を破壊し、多数のユダヤ人を残虐に殺し、ユダヤ人を諸国民の間に散らしました。その時から、ユダヤ人は王もなく、首長もなく、犠牲もなく、宮もなく、第 3 章 4 節のホセアの予言を成就しました。二千年間、神はイスラエルを死んだ状態にとどめておられました。この二千年の時期の後、第三の千年が来ます。三日目は第三の千年の時期、すなわち、キリストの復活の実際の中にある千年期、復興の時代を表徴します(啓 20:6)。その時、イスラエルは起き上がらせられ、すなわち、復興されます。

キリストは三日目に復活させられ(Ⅰコリント 15:4)、復活の中で霊なるキリスト、すなわち命を与える霊として(Ⅰコリント 15:45)、三日目の実際です(ヨハネ 11:25)。わたしたちはそのようなキリストと接触するときはいつも、二日の荒廃から三日目の復活にもたらされます。

結びの言葉 復興されたいという切望	
啓示の高嶺	「わたしが望むのは、全地のすべての召会の聖徒たち、特に同労者たちと長老たちが、この啓示を見て立ち上がり、神がわたしたちに新しい復興、歴史において決してなかった復興を与えてくださるようにと祈ることです」
神・人の生活	「わたしたちはみな、神・人の生活をしたいと宣言すべきです。最終的に、神・人は勝利を得る者、勝利者、エルサレムの中のシオンとなります。これは歴史において決して見られたことがない新しい復興をもたらし、これはこの時代を終結させます」
神にしがった牧養	「わたしたちがこの牧養する負担を受け入れることによって、わたしたちの間に真の復興があるようになることを、わたしは望みます。すべての召会がこの教えを受け入れ、キリストのすばらしい牧養にあずかるなら、回復の中に大きな復興があるようになります」

神の選民の間に、復興されたいという切望が常にあります

I. 神の選民の間に、復興されたいという切望が常にあります——ハバクク 3:2. ホセア 6:2. ローマ 8:20-22. 詩 119:25, 50, 107, 154. ヨハネ 6:57, 63. II コリント 3:3, 6。

それは神聖な啓示の最高峰に到達することを通してであり

II. わたしたちが新しい復興の中へと入ることができるのは、神がわたしたちに与えた 神聖な啓示の最高峰、すなわち、神の永遠のエコノミーの啓示に到達することによります (I テモテ 1:3-4. I コリント 9:17. 使徒 26:19, 22)。これが、神が人を創造したことにおける、また神が彼の選ばれた人を対処することにおける、神の目的についての大きい質問に対する大きい答えです (創 1:26. ヨブ 10:13. 参照、エペソ 3:9) :

- A. 神の心の中に隠された奥義は、神の永遠のエコノミーです (エペソ 1:10, 3:9. I テモテ 1:4)。神の永遠のエコノミーとは、神の永遠の意図と神の心の願いであって、それはご自身を彼の神聖な三一において、御父として、御子の中で、その霊によって彼の選ばれた人々の中へと分与して、彼らの命また性質とならせることです。それによって、彼らは彼の複製として彼であるのと同じになり (ローマ 8:29. I ヨハネ 3:2)、有機体、新しい人としてのキリストのからだとなり (エペソ 2:15-16)、また神の豊満、神の表現となって (1:22-23, 3:19)、新エルサレムにおいて究極的に完成します (啓 21:2-22:5)。
- B. 神が人と成ったのは、人が神格においてではなく命と性質において神となり、キリストのからだを生み出し建造して、新エルサレムを究極的に完成するためです。これは全聖書の本質、聖書という「箱」の中の「ダイヤモンド」、神の永遠のエコノミーです——創 1:26. ヨハネ 12:24. ローマ 8:29 :
1. 神は人の人性にあずかることによって、肉体と成ることを通して人と成りました。人は神の神性にあずかることによって、造り変えを通して、神格においてではなく命と性質において神となります——ヨハネ 1:14. II コリント 3:18. コロサイ 3:4. II ペテロ 1:4. ピリピ 2:5. ローマ 8:29. ヘブル 2:10. エペソ 1:5. ローマ 8:19. I ヨハネ 3:2. ヨハネ 1:12-13。
 2. この神と人のロマンスは、全聖書の主題、神のエコノミーの内容、全宇宙の秘密です——雅 1:1, 6:13. 参照、ハバクク 1:1, 2:4. ローマ 1:17 :
 - a. キリストは神であり、また人であり、彼の造り変えられた愛する者は人であり、また神です。彼らは命と性質において同じであり、互いに完全に符合しています。
 - b. 三一の神は究極的に完成されて夫となり、三部分から成る人は造り変えられて花嫁となります。彼らは一組の夫婦、団体の、大きい神・人となります——啓 21:2, 9. 22:17 前半。
- C. 神の中心的な啓示、また主の回復の中心的な啓示とは、神が肉体と成り (ヨハネ 1:1, 14)、肉体が命を与える霊と成り (I コリント 15:45 後半)、命を与える霊が七倍に強化された霊と成って (啓 1:4, 3:1, 4:5, 5:6)、召会を建造し (マタイ 16:18)、召会がキリストのからだとなり (エペソ 4:15-16)、新エルサレムを究極的に完成するということです (啓 21:2, 9. 22:17 前半. 参照、創 2:22. ヨハネ 19:34)。
- D. 神と人は一つの実体となります。その一つの実体は、神性と人性のミングリングであり、新エルサレムにおいて究極的に完成し、全聖書の結論となります——啓 21:3, 22, 2, 9. 参照、レビ 2:4-5. 詩 92:10。
- E. 「わたしが望むのは、全地のすべての召会の聖徒たち、特に同労者たちと長老たちが、この啓示を見て立ち上がり、神がわたしたちに新しい復興、歴史において決してなかった復興を与えてくださるようにと祈ることです」——「歴代志上、下ライフスタディ」、第2編。

それは神・人の生活を通してであり、

III. わたしたちが 神・人の生活、すなわち、キリストのからだの実際を生きることを実行するなら、自然に団体の模範、すなわち神のエコノミーの中で生きる模範が建て上げられます。この模範は、召会の歴史における最大の復興となり、主の再臨をもたらします——詩 48:2 とフットノート 1. 啓 3:12, 21 :

- A. 神が必要とするのは、団体の人々が神の恵みによって、神聖な啓示の高嶺を通して起こされ、この啓示にしたがった生活をすることです。復興は、わたしたちが見てきたビジョンを実行することです。
- B. キリストに従う者たちが（マタイ 5:1, 28:19）、弟子として構成されたのは、地上でのキリストの人の生活を通して神・人の原型となることでした。（キリストの人の生活は神・人の原型であり、人性においてご自身を否むことによって神を生きました——ヨハネ 5:19, 30）。これは、人についての彼らの観念を徹底的に変えました（ピリピ 3:10, 1:21 前半）。
- C. わたしたちの生活は、第一の神・人であるキリストの生活の原型の複写、複製であるべきです——Ⅰペテロ 2:21, マタイ 11:28-29, エペソ 4:20-21, ヨハネ 17:4, 5:17, ピリピ 1:19-22, 25。
- D. 弟子たちの中へと息吹き込まれた命と実際の霊は、彼らが三年半の間、主と共にいたとき、主について観察してきたことのすべての実際へと導きました——ヨハネ 16:13, 20:22：
1. 第一の神・人の務めの開始の時、彼はバプテスマされてすべての義を成就し、彼の肉（彼の人性——ヨハネ 1:14, ローマ 1:3, 8:3）によれば、彼が死と葬り以外に役に立たないことを承認しました（マタイ 3:15-17）。
 2. 彼は五つのパンと二匹の魚で五千人を養った奇跡の中で、彼から学ぶようにと（マタイ 11:29）、彼の弟子たちを訓練しました。彼が「天を見上げて」、五つのパンと二匹の魚を祝福したこと（14:19）が示しているのは、祝福の源が彼、すなわち遣わされた方ではなく、御父、すなわち遣わす方であることを、彼が認識していたということです（ヨハネ 10:30, 5:19, 30, 7:6, 8, 18）。
 3. 主は群衆と共に奇跡の結果にとどまっていたのではなく、彼らから去って、ひそかに山上で御父と共にいて祈りました——マタイ 14:22-23, ルカ 6:12。
 4. 主は、神と接触する生活をして（マルコ 1:35, ルカ 5:16, 6:12, 9:28, ヘブル 7:25）、絶えず神の臨在の中で生き（使徒 10:38 後半, ヨハネ 8:29, 16:32）、また人と接触する生活をして、神を彼らの中へと供給し、彼らを神の新約エコノミーのヨベルへともたらししました（ルカ 4:18-19, ヘブル 8:2, 参照、創 14:18, 使徒 6:4）。
 5. 彼は、この世の支配者であるサタンが、彼の中では何も持たない（何の立場もなく、何の機会もなく、何の望みもなく、いかなることにおいても何の可能性もない）人でした——ヨハネ 14:30 後半, 参照、20 節, Ⅱコリント 12:2 前半, コロサイ 1:27, Ⅱテモテ 4:22, ヨハネ 3:6 後半, 4:23-24, Ⅰヨハネ 5:4, 18。
- E. 主の模範にしたがって神・人の生活をする唯一の道は、わたしたちの全存在をミングリングされた霊に付け、ミングリングされた霊にしたがって歩き、生活し、存在することです——ローマ 8:2, 4, 10, 6, 11, 16, Ⅰコリント 6:17, ローマ 10:12, ガラテヤ 5:25, エペソ 6:17-18, Ⅰテサロニケ 5:16-20, Ⅰテモテ 4:6-7, Ⅱテモテ 1:6-7。
- F. 「わたしたちはみな、神・人の生活をしたいと宣言すべきです。最終的に、神・人は勝利を得る者、勝利者、エルサレムの中のシオンとなります。これは歴史において決して見られたことがない新しい復興をもたらし、これはこの時代を終結させます」——「歴代志上、下ライフスタディ」、第3編。

キリストの天の務めにあずかることを通してです(神にしたがった牧養)

- IV. わたしたちが新しい復興の中へと入ることができるのは、キリストの天の務めにあずかって、彼の小羊を養い、彼の羊を牧養して、神の羊の群れを顧みることによります。神の羊の群れは召会であり、キリストのからだという結果になります。これは、使徒の務めとキリストの天の務めを合併することです——ヨハネ 21:15-17, Ⅰペテロ 2:25, 5:1-4, ヘブル 13:20-21, 啓 1:12-13：
- A. わたしたちは、主イエスの務めにおける模範にしたがって人々を牧養し、神の永遠のエコノミーを完成する必要があります——マタイ 9:36, ヨハネ 10:11, ヘブル 13:20, Ⅰペテロ 5:4：
1. 神の全体的な救いにおける神の新約エコノミー全体の内容とは、人の子としてのキリストがわたしたちを罪から贖うことによってわたしたちをはぐくみ、彼の死を通して法理的な贖いを完成し（Ⅰテモテ 1:15, エペソ 1:7）、神の御子

- としてのキリストがわたしたちを養い、神聖な命をわたしたちの中へと豊かに分け与えて、彼の復活の中で有機的な救いを遂行するということです（ヨハネ 10:10. I コリント 15:45 後半. エペソ 5:29）。
2. わたしたちが御父の愛し赦す心と、救い主の牧養し捜す霊を持たないことが、わたしたちが実を結ばないことの原因です——ルカ 15:1-24。
 3. わたしたちはイエスの人性の中で、人々をはぐくむ（彼らを幸いにし、喜ばしく心地良く感じさせる）必要があります（マタイ 9:10. ルカ 7:34）。わたしたちはキリストの神性の中で、人々を養う（キリストの三つの時期の務めにおける、すべてを含むキリストをもって彼らを養う）必要があります（マタイ 24:45-47）。
 4. キリストがサマリアを通過し、ことさらスカルに迂回しなければならなかったのは、一人の不道德な女を得て、ご自分に飲むものを与えるよう彼女に求めることによって彼女をはぐくみ、命の水の川としての流れる三一の神をもって彼女を養うためでした——ヨハネ 4:3-14. 啓 22:1。
 5. 罪のない方として、彼は姦淫の女を罪定めたのではなく、彼女をはぐくみました。それは、法理的に彼女の罪を赦し、有機的に彼女の罪から自由にするためでした（ヨハネ 8:1-11, 32, 36）。キリストによって、彼の十字架を通して最初に救われた人が、死刑判決を受けた強盗であったことも意義深いのです（ルカ 23:42-43）。
 6. 主がエリコに行ったのはただ、一人の人、取税人のかしらを訪問し、得るためでした。彼の宣べ伝えることは、牧養することでした（19:1-10）。彼はまた子供たちに手を置くことによって、彼らの両親をはぐくみました（マタイ 19:13-15）。
- B. わたしたちは使徒パウロの模範にしたがって、人々を牧養する必要があります。パウロは養う母、また勧めをする父として聖徒たちを牧養し、神の羊の群れを顧みました——I テサロニケ 2:7-8, 11-12. I テモテ 1:16. 使徒 20:28：
1. パウロがエペソの聖徒たちを牧養したのは、「公にも、また家から家でも」、彼らを教えることによって（20 節）、また三年の間、涙をもって聖徒たち一人一人を訓戒し（31, 19 節）、彼らに神のみこころをすべて、余すところなく言い表すことによってでした（27 節）。
 2. パウロは信者たちに親密な心遣いを持ち（II コリント 7:2-7. ピレモン 7, 12 節）、弱い人の水準に下って来ました。それは、彼が彼らを得ることができるためでした（II コリント 11:28-29. I コリント 9:22. 参照、マタイ 12:20）。
 3. 彼は進んで、聖徒たちのために、彼が持っているもの、すなわち彼の所有物を費やし、彼であるもの、すなわち彼の存在を費やしました（II コリント 12:15）。彼は注ぎのささげ物であり、ぶどう酒を生み出す者としてのキリストと一であり、自分自身を犠牲にして、他の人がキリストを享受するようにしました（ピリピ 2:17. 土 9:13. エペソ 3:2）。
 4. パウロは霊によって歩いて神を尊びました。それは、彼がその霊を供給して、人を尊ぶことができるためでした——II コリント 3:3, 6, 8. ガラテヤ 5:16, 25. 土 9:9。
 5. パウロが彼の教えの中で示したのは、召会が人々を育てる家、彼らをいやし回復する病院、彼らを教え啓発する学校であるということです——エペソ 2:19. I テサロニケ 5:14. I コリント 14:31。
 6. 彼が啓示したのは、キリストのからだを建造するために、わたしたちが何であっても、何を行なっても、愛が最も卓越した道であるということです——I コリント 8:1. 12:31. 13:4-8 前半. エペソ 1:4. 3:17. 4:2, 15-16. 5:2. 6:24. 啓 2:4-5. コロサイ 1:18 後半. I テサロニケ 1:3。
- C. 「わたしたちがこの牧養する負担を受け入れることによって、わたしたちの間に真の復興があるようになることを、わたしは望みます。すべての召会がこの教えを受け入れ、キリストのすばらしい牧養にあずかるなら、回復の中に大きな復興があるようになります」——ウィットネス・リー全集、1994 年—1997 年、第 5 巻（上）、「バイタルグループ」、第 4 編。

